

## 日本語教師【初任】(就労者) 研修における教育内容 (案)

3 領域	5 区分	16 下位区分	教育内容	
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	①世界と日本	(1) 人の移動とダイバーシティ	
		②異文化接触	(2) 日本の外国人材受入れ施策 ・就労に関わる在留資格	
			(3) 日本と海外の労働に関する制度の違い ・雇用や社会保障に関する制度 ・メンタルヘルス	
		③日本語教育の歴史と現状	(4) 就労者に対する日本語教育 ・就労のための日本語教育の多様性 ・就労に関わる日本語能力の要件	
		言語と社会	④言語と社会の関係	(5) 就労者の多様性 ・言語背景, 文化的背景 ・ニーズの多様性
			⑤言語使用と社会	(6) 職場におけるコミュニケーション分析 ・社会文化的背景と言語・非言語行動 (7) キャリア支援と日本語教育
	⑥異文化コミュニケーションと社会		(8) 就労者の異文化受容・適応 ・異文化間トレランス	
	教育に関わる領域	言語と心理	⑦言語理解の過程	
			⑧言語習得・発達	
		⑨異文化理解と心理	(9) 学習動機と就労現場における学習者心理 ・職場におけるトラブル ・就労準備, 職場における学習者の成長と発達	
	言語に関わる領域	言語と教育	⑩言語教育法・実習	(10) コースデザイン演習 ・ニーズ分析の手法 (対職場関係者, 对学习者) ・目標設定 ・職種別対象別日本語教育内容 ・職種別対象別カリキュラム ・教材作成 (11) 各種指導法 ・就労準備, 就職後の職場適応及び業務遂行のための日本語教育 ・キャリア形成のための上級ビジネス日本語教育等の段階別指導方法 (12) 評価・報告 ・評価及びフィードバックの方法 (対職場関係者, 对学习者) ・分析的な振り返り ・経験の振り返りや議論等を通じた内省力の強化 (経験や他者を通して学ぶ力の育成)
				⑪異文化間教育とコミュニケーション教育
			⑫言語教育と情報	(14) 就労のための日本語教育の教材・教具のリソース ・通信, eラーニング, ICTツール(SNSなど)

		言語	⑬言語の構造一般	
			⑭日本語の構造	
			⑮言語研究	
			⑯コミュニケーション能力	(15)異文化調整能力 ・ 専門家以外に対する学習効果や日本語教育の 必要性の説明